



解答と解説は 22 ページにあります。

新聞で
読解力アップ！

ワークシート

読解力は学力の基本です。記事を読んで、問題にチャレンジしましょう。

丘珠 30 年に滑走路延伸

札幌市工事加速へ時期明示

札幌市が、札幌丘珠空港（札幌市東区）の滑走路を 1500m から 1800m に延伸する目標時期を 2030 年とすることが 28 日、分かった。札幌中心部では 30 年度末に予定される北海道新幹線札幌延伸に合わせた再開発などで人手不足や資材高騰が深刻化しており、時期を明確化することで、工事を着実に進めるのが狙いだ。31 日の市議会特別委員会で報告する。

300m 延伸することで、夏季限定の小型ジェット機の運航が冬場も可能になる。市が昨年 11 月に策定した「丘珠空港の将来像」では延伸時期を「おおむね 10 年後」と記し、発便は現在の倍の 70 便、年間旅客数も 3 倍以上の 100 万人に増えると想定。空港の運用時間は前後 30 分ずつ延長して午前 7 時～午後 9 時とするよう国に求めるとし、空港ビルの拡充や空港へのアクセス向上も盛り込んだ。

将来像の実現に向け、市は今春以降、空港を所管する国土交通省や防衛省など関係機関と検討会を開催。丘珠空港の 22 年度の旅客人数は 13 年ぶりに 30 万人を超えるなど好調で、延伸の可否を最終的に判断する国も「前向きな姿勢を示している」（市幹部）と判断し、具体的な目標時期を明示す

背景には人手不足や資材高騰による工事遅れなどへの懸念がある。札幌中心部では再開発が相次いでいるほか、今秋にはラピタス東京の次世代半導体工場の建設が千歳市で始まる。札幌中心部のホテル新築計画が無期限延期になるなど影響は表面化しており、市は滑走路延伸の目標時期を明確化することで、人手と資材の早期確保を目指す。

丘珠空港の滑走路を巡る市と道は、1995 年に市と道千歳に延長する方針を示し

ては、が当時の 1400m から 2

たが、騒音を懸念する地域住民の反発で 1500m になった経緯がある。市は今回、地元住民との対話を重ね、理解を得たい考えだ。

（五十地隆造）

『北海道新聞』2023年7月29日(土)朝刊(全道版)

(1) ■とありますが、札幌市は、滑走路延伸後の丘珠空港について、どのようになると想定していますか。

(2) 札幌市が滑走路延伸の目標時期を 2030 年と具体的に明示することには、どのような狙いがありますか。

背景にある事情も含めて説明しなさい。

(3) この記事から読み取ることのできる、丘珠空港の滑走路延伸における課題を、(2)で挙げた内容以外に 1 つ書きなさい。